

## 心の石

平塚市立春日野中学校 二年 前田 乃裕まえだ のゆ

言った言葉は砂に書いた文字、言われた言葉は石に刻まれた文字。皆さんは自分の一回一回の発言について考えたことがありますか。

私は最近、SNSのコメント欄に書かれる誹謗中傷を見る回数が増えてきたような気がします。それはなぜでしょうか。そう考えた時、私は便利になった世の中と新型コロナウイルスが原因だと思いました。

私たちにとって今の世の中はとても便利です。スマホを使い、指一本で数多くのことが出来ます。でも、その一方で指一本で相手を傷つける言葉を簡単に書き込めるようにもなりました。人は強くありません。直接は勇気がなくても言えないようなことが簡単に言えるようになる時、人はそれを利用するのです。簡単だから。自分が書き込んだとは分からないだろうと。簡単な分、直接言う時より言葉を選ばず、思ったことをそのまま言えます。ムカつく時、自分の意見を言いたい時があるのは当然です。今は、新型コロナウイルスという目に見えない敵のせいで我慢が多いと思います。今までの生活から大きく変化したことでストレスも多いと

予想もしていなかった言葉に傷つくことは誰にでもあります。自分は何もしていなかったら余計になぜだろうと考え、苦しくなってしまうかもしれません。でも、自分は世界でたった一人です。同じ人はいません。だから堂々としていてください。自分を大切にしてください。人には家族や友人など愛してくれる人達が必ずいます。これから見つけることもできると思います。傷ついてもその光を自分で隠すことは絶対にしないでください。また、自分を傷つけたり、命を落としたりも絶対にしないでください。たった一つの命です。命を落とす前の感情が苦しい、辛いなどになるのはもったいないです。楽しいことをたくさん見つけてください。

最初に書いた、言った言葉は砂に書いた文字、言われた言葉は石に刻まれた文字。この言葉を国語の先生から教わった時、私は良い方にも捉えられると思いました。感謝された時、褒められた時など何気ない一言で言った側は覚えていなくても、言われた側は嬉しい記憶として心の石に刻まれます。そんな温かい言葉が皆の心の石に刻まれるといいなと思います。言葉たった一つが人を傷つけます。私の主張でSNSの使い方や発言を意識する人が一人でも増えたら嬉しいです。誰もが生きやすい世の中になることを願います。

思います。心も体も常にコロナに警戒し、疲れてしまうと思います。でも、いくらコロナに苛立ってもそれをぶつけることができない。だから、溜まっていくストレスをぶつけられるのが人だと勘違いしてしまうかもしれません。でも、そんな時すぐにスマホを手取るのは違います。一度立ち止まって考えてみてください。自分は全てを知っているのか。第三者の自分が言うことなのか。自分がその人だったらどうか。SNSは人が苦しむためにあるわけではありません。人が楽しむためにあります。その楽しさに目を向けてみてください。楽しさに時間を使ってください。誰かを苦しめることに時間を使うのがもったいないということに気づいてください。顔が見えず感情も分からない人から受け取る文字が与える怖さは皆が知るべきです。これはSNSだけではありません。私は小学四年生の時、陰で悪口を言われていたことがあります。その時私を傷つけたのは「うざい」という一言でした。それから四年が経っても、その一言は忘れられません。友達と話していても、この人にも同じことをまた言われるのではないか。そう思うと人を信じたり頼ることが簡単にできなくなりました。まるで石に刻まれた文字のようでした。たった一言が人を傷つけるのです。時には命だつて奪う力になってしまうのです。

令和3年度 中学生の主張inかながわ2021  
最優秀賞(神奈川県知事賞)受賞作品

